



平成27年9月3日

記者発表資料

(県政・小田原記者クラブ同時発表)

「未病いやしの里センター(仮称)」の最優秀提案を採択しました！

県では、県西地域が「未病の戦略的エリア」であることをアピールする拠点施設として、「未病いやしの里センター(仮称)」の設置を推進しています。

「未病いやしの里センター(仮称)」は、「未病」についての情報発信機能や地域の活性化につなげるための「にぎわい」の創出機能などを持った施設として設置するもので、民間事業者が整備する商業施設を位置付けます。

このたび、実際に整備を検討していただける事業者を対象に、設置場所やコンセプト等に関する概略提案の募集・審査を行い、応募のあった4件の中から最優秀提案を採択しました。

【最優秀提案】

- 提案者 (株)ブルックスホールディングス、大井町
- 設置場所 足柄上郡大井町山田300番他
(現・ブルックス大井事業所)
- 敷地面積 607,878.22㎡

【(株)ブルックスホールディングスについて】

コーヒーを中心とした商品の通信販売事業を行う企業グループ。平成24年に現在地に「ブルックス大井事業所」を設置。

今後、(株)ブルックスホールディングス、大井町、県が連携し、設置に向け、具体的な計画の策定に着手します。

【資料1】 「未病いやしの里センター(仮称)」について

【資料2】 提案された「未病いやしの里センター(仮称)」のイメージ

(問い合わせ先)

神奈川県政策局自治振興部地域政策課

課長代理

重田 電話045-210-3253

県西地域活性化グループ

菅原

電話045-210-3275

「未病いやしの里センター（仮称）」について

1 趣旨

平成26年3月に策定した「県西地域活性化プロジェクト」に基づき、県西地域を「未病の戦略的エリア」としてアピールしていくため、未病に関する総合的な普及啓発を行うとともに、地域の活性化につながる「にぎわい」を創出するための核となる拠点施設として、民間事業者が主体となって整備する商業施設を「未病いやしの里センター（仮称）」に位置付ける。

2 開設時期

「県西地域活性化プロジェクト」の計画期間である平成32年度までの出来る限り早期の設置（開設）を目指す。（開設時期が異なる段階的な開設も検討する）

3 センターの機能

「未病いやしの里センター（仮称）」は、県西地域を「未病の戦略的エリア」としてアピールする核となる施設であることから、未病を治す取組みの普及やそれに必要な「情報発信機能」、個人の未病の状態をチェックし、未病を治す地域資源等の紹介・案内等を行う「未病の見える化・地域コンシェルジュ機能」、集客のための「にぎわい機能」などを備えるものとする。

このうち、情報発信機能及び未病の見える化・地域コンシェルジュ機能については、「未病」を治す取組みを推進している県が実施主体となる。

【センターの機能と実施主体】

機能	目的・検討例	実施主体
情報発信機能	<ul style="list-style-type: none"> 未病についての知識を深める 誰もが理解できる分かりやすい「未病」の解説 「未病」に関する最新の研究や機器の展示 	県が設置・運営
未病の見える化・地域コンシェルジュ機能	<ul style="list-style-type: none"> 未病の状態をチェックし、未病を治す地域資源の体験を提案する 「未病」の状態をチェックし、気軽に相談できるパーソナルサポート 「未病を治す」地域の施設やスポットの紹介・案内 	
にぎわいの創出機能	<ul style="list-style-type: none"> 訪れる人を引きつけ、地域の「にぎわい」を創出する 「未病」に関するショッピングモールなど集客施設の併設 地域の名店などによる健康食の提供 魅力的な商業機能の集積 	事業者が整備・運営
「未病を治す」その他機能	<ul style="list-style-type: none"> 未病を治す機能を多彩に集約する 「未病を治す」医療サービスの提供 ウォーキング、健康ヨガなど運動メニューの設定 農作業体験など周辺施設等と連携したアクティビティ 	

提案された「未病いやしの里センター(仮称)」のイメージ

既存施設も活用しながら、広大な敷地を生かした施設設計を行います

